

0581

三七

行政後官記

(内) 告白

代

決算報告
保存期間

三七

件 感受

三七

機械製圖講習會講師招聘二箇スル件

三七

一ノ七

軍務

課

三七

昭和四年七月廿五日

三七

三七

0582

シ寧首
度題次官ヨリ文部次官宛照會（陸機密）
ノ如ク申出アリタルニ件可然配處紙
件一開シ滿洲國大使報ヨリ
件二大便報ヨリ
件三可然配處紙

陸機密第五四五
昭和五年七月二十三日

寫

3850

日公庶第二九五號

康德六年七月二十一日

駐日滿洲國大使館

參事官 野田清武

陸軍省軍務局長
町尻量基殿

機械製圖講習會講師斡旋方依賴ノ件

首題ノ件ニ關シ民生部教育司長ヨリ別紙ノ通り依賴越有之タルニ付
何分ノ御高配相煩度右一件書類相添ヘ及御依賴

尙文部省宛ニハ連絡済ニ付爲念申添

一、公信寫一部添附

陸軍

陸軍

民生部教育司函第三三六號（民教養發第一五號）

康德六年七月十七日

民生部教育司長 田村敏雄

駐日滿洲國大使館參事官

兼民生部參事館

野田清武殿

機械製圖講習會講師招聘方依賴ノ件

左記ノ者ヲ當部教育司主催機械製圖講習會講師トシテ招聘致シ度委
細別添へ要領ニ依リ御承知ノ上文部省ニ御折衝方御取計相煩度此段
及依賴

追而渡滿旅費ハ當部負擔ニテ到着後交付致可ニ付爲念申添フ

記

東京府立電機工業學校長

清^{セイ}

家^ケ

正^{タシ}
氏

陸軍

機械製圖講習會開催要領
一 部

陸軍

0586

受講資格	工業大學、國立大學工鑄技術院、工業實習所助教授	場所	新京特別市城後路國立大學新京工鑄技術院	日時	自康德六年八月十一日至康德六年八月十七日	外助手名	清家正（東京機械工養成所長）	講師	民生部教育司	催援目	機械製圖理論及實技	主後課講	機械製圖講習會開催要領
------	-------------------------	----	---------------------	----	----------------------	------	----------------	----	--------	-----	-----------	------	-------------

0587

携 帶 品

助手、工科國民高等學校教員

國聞各工場技術員養成所教師

兩脚器、コンバース、鉛筆、ゴム、小刀

日公底第二九五號

康德六年七月廿一日

陸軍省軍務局長
町尻量基殿

駐日滿洲國大使館
參事官野田清武



機械製圖譯會講師斡旋方依頼一件

首題ノ件ニ關シ民生部教育司長一リ別紙ノ通し依頼越行之タルニ付
何分ノ御高配相煩度右一件書類相添へ及御依頼
尙文部省宛ニハ連絡済ニ付爲念申添

一公信寫一部添附

0580

民生部教育司函 第三三六號（民教養發第一五號）

康德六年七月十七日

民生部教育司長 田村敏雄

駐日滿洲國大使館參事官
兼民生部參事官
野清武殿

機械製圖講習會講師招聘方依賴ノ件

左記ノ者ヲ當部教育司主催機械製圖講習會講師トシテ招聘致シ度委
細別添ヘ要領ニ依リ御承知ノ上文部省ニ御折衝方御取計相煩度此段
及依賴

追而渡滿旅費ハ當部負擔ニテ到着後交付致可ニ付爲念申添フ

記

0590

東京府立電機工業學校長

清^{セイ}

家^ケ

正^{マサ}

機械製圖講習會明鑑要領

一
部

附
件

明
日
講
習
會
要
領

主 席 講 研 例 日 時 領 事 目 間 授

機械製圖講習會開催並委員
民生部教育司
社團法人滿洲鋼工技術員協會
機械製圖理論及實習

清 家 正 一 保 尔 機 械 工 藝 成 所 長

外 助 手 名

自 艱 亟 六 年 八 月 十 一 日
至 艱 亟 六 年 八 月 十 七 日 七 日間

場 所 受講資格
新 京 特 別 市 城 後 路 國 立 大 學 新 京 工 藝 技 術 院

工 藝 大 學 、 國 立 大 學 工 藝 技 術 院 、 工 藝 實 習 所 助 教 授 、
助 手 、 工 科 國 民 高 等 一 校 教 師

民 間 各 工 场 技 術員 及 教 師
網 烤 器 、 コ ン バ ス 、 站 篦 、 ゴ ム 、 小 刀

0592

0593

0592
本文，趣軍務局長了滿洲國
大使館參事官一回信
八月三日
軍務課

0593

文 部 省



昭和十四年七月三十一日

文部次官
石 黑

英 彦



陸軍次官 山 脩 正 隆 殿

回 答

本年七月二十三日付陸満密第五四五號ヲ以テ公立實業學校長清家正ヲ滿洲國民生部教育司主催機械製圖講習會講師招聘ニ關スル件御照會ノ處日本人ニ對シ許可相成タルニ付御了知相成度